

ごみの分別で、防げる事故があります

～日常生活を守るために、ご協力をお願いします～

問／資源リサイクル課(クリーンセンター) ☎456-1593



令和2年8月 クリーンセンターで火災発生

充電式電池やスプレー缶などを、ごみとして出す時のルールをご存じですか？

分別や出し方を間違えると、火災や爆発などの大きな事故につながります。実際に、クリーンセンターでも火災が発生していますが、幸いなことに今までは大事に至っていません。もし、クリーンセンターで大事故が起きてしまうと、しばらくごみ出しができなくなる、復旧に莫大な予算がかかるなど、皆さんの生活に大きく影響してしまいます。

正しく分別して出せば、クリーンセンターで安全に処理・リサイクルできます。ぜひご協力ください。

令和7年1月に川口市朝日環境センターで発生した火災では、燃やすごみの保管場所から出火し、現在も稼働を停止しており、その復旧などに要する費用の総額は約67億円と見込まれています。

それも、充電式電池が入っています！

ハンディファンやワイヤレスイヤホン、シェーバーなど、身の回りに「充電して使うもの」が増えました。外側がプラスチックで気付きにくいですが、これらはすべて中に「充電式電池」が入っています。「充電して使うもの」を捨てる時は、すべて「**有害ごみ**」として出してください。



透明な袋に入れて、黄色かごの脇へ

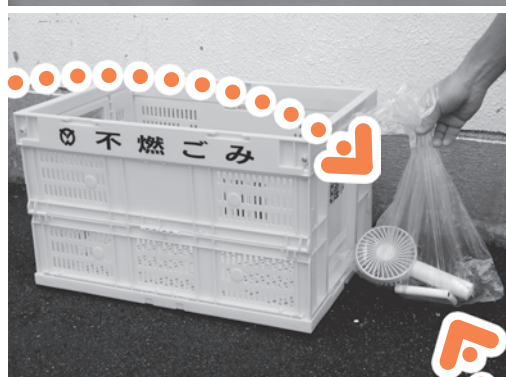
有害ごみの出し方は次の3ステップで！

- ①種類ごとに透明な袋に入れて、
- ②燃やせないごみの日に、
- ③黄色いかごの脇へ置いてください。

絶対に燃やすごみに
混ぜないで！

有害ごみの種類

- 蛍光灯・電球
- スプレー缶
- 水銀体温計
- ライター
- 充電して使うもの
- 電池（充電式電池・乾電池等）



電池・充電して使うものを出す時は、特にご注意を！

充電式電池(単体)・ボタン電池(SR,PR,LR)

回収協力店の回収箱へ

お近くに
ないときは

充電して使うもの(機器)・乾電池・
コイン電池(CR,BR)

有害ごみ ①透明な袋に入れて
②燃やせないごみの日に ③黄色かごの脇へ